

29 日本における溶融亜鉛めっきの市場開発活動

社団法人 日本溶融亜鉛鍍金協会

要約

日本での溶融亜鉛めっき生産高は 1996 年に最高の 206 万トンを達成したが、その後年を追って下降の一途をたどっている。この傾向はほぼ公共投資の傾向と一致している。公共投資は日本の溶融亜鉛めっき業界にとって大きいウエイトを占めているが、我々としては公共投資以外の分野での新しい市場の開拓を行う必要にせまられており、以下のような活動を続けている。

1. 亜鉛めっき技術講演会

頻 度：9 回／年

テーマ：①溶融亜鉛めっきの特性

②溶融亜鉛めっき鋼構造物の設計・製作上の留意点

③溶融亜鉛めっき高力ボルト接合

講 師：建築工学関係教授、日本溶融亜鉛鍍金協会および鉱業協会

対 象：官公庁、鋼構造物設計技術者、ゼネコンおよびファブリケーター他

2. 出前講座

地方自治体、設計・建築関係協会、ゼネコンなどからのリクエストにより出張講座を開催。2009 年の開催実績は 5 回。

3. 亜鉛めっき年間大会

日本鉱業協会鉛亜鉛需要開発センターと共に「亜鉛めっき年間大会」を 3 年に 1 回開催。内容は連続亜鉛めっきを含む亜鉛めっき関係全般。

4. 新需要分野の開拓

- ・新しい需要分野として「太陽電池関連鋼構造物」および「耐震補強」分野に着目し、パンフレットを作成して関連業界に配布。
- ・亜鉛めっき鉄筋、めっき上の塗装の P R

5. 各国の溶融亜鉛めっき業界との需要分野別生産統計情報の交換を提案